令和8年度（令和7年度実績） 総合評価書　＜施設名 勤労者センター＞

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日
3. 業務の範囲	(1) センターの使用許可に関すること。 (2) センターの維持管理に関すること。 (3) 勤労者等の福祉増進を目的とした事業の運営に関すること。 (4) 使用料等の徴収、収納に関すること。

4. 採点表

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用率の平均値 **(2)2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率)** (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 ※空調設備改修工事などの理由により、使用できない相当の期間がある場合は、その期間を控除するなど、適宜、調整する。 ※複合施設や複数施設を一括管理している場合における点数算出は、指定管理料割合で按分するなど、適宜、調整する。 **平均値比(98.1%)**=利用率(21.1%)／上記(2)利用率(21.5%)	105%未満～95%　4点	■R7年度管理期間 【年間開館日数】308日 【年間稼働時間】3,696時間 【平均利用率】 全体利用率　(30.1+15.9+25.5+14.0+20.2)／5＝21.1% 大研修室　(1,114時間／3,696時間)＝30.1% 小研修室　(586時間／3,696時間)＝15.9% 会議室A　(914時間／3,696時間)＝25.5% 会議室B　(516時間／3,696時間)＝14.0% 会議室C　(748時間／3,696時間)＝20.2% (参考)■R6年度管理期間 【年間開館日数】307日 【年間稼働時間】3,684時間 【平均利用率】 全体利用率　(34.5+14.0+26.6+13.6+18.9)／5＝21.5% 大研修室　(1,270時間／3,684時間)＝34.5% 小研修室　(517時間／3,684時間)＝14.0% 会議室A　(978時間／3,684時間)＝26.6% 会議室B　(499時間／3,684時間)＝13.6% 会議室C　(698時間／3,684時間)＝18.9% ■R5年度利用率　20.4% ■R4年度利用率　28.8%　※R4は大改修前	4点
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用人数の平均値 **(2)2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数)** (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 **平均値比(108.4%)**=利用人数(13,506人)／上記(2)利用人数(12,700人)	105%以上 5点	■令和7年度利用者数 13,506人(大研修室：6,291人、小研修室:2,283人、会議室A:2,892人、会議室B:706人、会議室C:1,334人) 昨年度よりも800人程度利用者が増え、過去3年と比較しても多い利用人数であった。 (参考)■R6年度利用者数 12,700人(大研修室：6,159人、小研修室:1,896人、会議室A:2,841人、会議室B:668人、会議室C:1,136人) ■R5年度利用者数　12,950人 ■R4年度利用者数　12,020人	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況（仕様書内）(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施（軽微）:8～7点、仕様書の一部不実施（中程度）:6～3点、それ以下:2～0点	市民の要望をくみ取る努力をしながら、勤労者の福祉増進を目的とした講座等を実施した。 実施回数:13回、参加人数:1,116人(R6年度　実施回数:12回、参加人数:338人)	仕様書以上　14点	今年度は、勤労者の福祉増進に関わる事業に「親子で楽しむ事業」を短時間の参加型プログラムで行うことで、現役労働者の参加を促すことができた。学習講座においては、仕事や日常にすぐに活かせる「実践的な力」を養う講座が開催された。多くの方からの申し込みがあり、若い世代の参加も見られた。勤労者の学びの場、健康増進の場としての利用、また現役世代層への周知へとつながった。	14点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る　2～0点	実施回数:85回、参加人数:2,652人 (R6年度　実施回数:73回、参加人数:2,111人)	期待以上　12点	昨年度と比較し、自主事業の回数、人数ともに増加した。歌の広場や同友会応援事業等による増加が顕著となっている。令和7年度に新たに4団体の同友会が発足し、通年事業として継続することができ、地域の学びや交流の拡大に大きく寄与した。また、空き部屋の活用をする等新たな取り組みも行われた。	12点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況（10点）	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する。 （適正（普通）:2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点） ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正（普通）:6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	1日1回以上の清掃等実施されている。	適正（普通）　2点	仕様書に定める回数実施。館内清掃、敷地内外の除草実施。	10点
			②保守・点検			空調機器は年3回（6月、8月、11月）点検実施。 R5年度より、非常用通報装置の定期点検が毎月から年4回へと変更。	適正（普通）　2点	法定点検、日常点検ともに適正に実施されている。 業者に依頼し、2階ホールの空調機のフィルターを取り外し可能なものに交換し通期性を向上させた。	
			③保安・警備			1日1回以上の施設内見回り、月1回の非常用通報装置点検実施、年2回の消防訓練実施、年1回の防火対象物の定期点検実施	適正（普通）　2点	適正に実施されている。（防火対象物の定期点検は防火対象物点検報告特例認定によりR7.2月～R10.2月までの3年間免除。）	
			④小規模修繕			①公用車車検　　(実施日:6/6、費用:41,256円) ②火災受信機　　(実施日:8/1、費用:74,800円) ③防犯灯修繕工事　(実施日:2/12、費用:93,500円) 年間3件、総額209,556円の有償修理を実施。	適正（普通）　2点	日常的な見回りにより、劣化や故障は早期に対応。また、職員による消火器BOXの塗装、フェンスの防腐塗装、エアコンの煤落とし等修繕が実施された。	
			⑤危険箇所の把握（施設の瑕疵）			点検が適正に実施されている。	適正（普通）　2点	日常的な見回りが実施されており、危険個所については個別に対応がされている。	
		(2)その他管理業務の実施状況（15点）	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する。 （期待以上:3点、適正（普通）:2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点） ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている。	適正（普通）　2点	多治見市のファイリングシステムに順準じ、適切な文書管理と情報共有を行っている。	10点
			②環境への配慮			適正に実施されている。	適正（普通）　2点	樹木の剪定を行い、周辺の生態系に配慮しつつ風通しをよくし、病害虫の発生抑制に寄与。不在時の消灯を徹底し、空調温度の適正な管理を実施されている。	
			③バリアフリー			適正に実施されている。	適正（普通）　2点	ハード面（設備）だけでなく、ソフト面（対応）も重視し、職員による声がけやサポートを通じて誰もが利用しやすい空間づくりが行われた。	
			④備品管理			適正に実施されている。	適正（普通）　2点	備品台帳と備品の突合を図り、適切に処理している。	
			⑤個人情報保護			事故なし	適正（普通）　2点	多治見市文化振興事業団の情報セキュリティーに関する指針、個人情報保護方針に基づき実施。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする（事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点）	事故なし	事故なし・対応に不備なし　0点	重大な事故なし。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入÷支出＝10,704,343円／11,465,944円＝**93.4%** 多治見市指定管理者緊急支援金の支給なし	100%未満　3点	定期的な点検をもとに修繕箇所に迅速に対応していること、また、個人事業主の利用を促進するため備品を購入したことなどにより、支出が収入を上回っている。なお、使用料収入額は過去最高であった。	3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映（15点）	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正（普通）:7～5点、不備あり:4～1点	顧客が本当に求めているものを理解し、それを具体的な形で提供するため、優先順位を決め整理をしながらニーズにこたえていった。 また、古希（70歳）という人生の節目を機に、20年間けいぞくしてきたパッチワークキルト展をはじめ、段ボール工作や絵画など、これまでの創作活動の集大成となる展示を開催した。	期待以上　8点	「勤労者」という名称から、「自分たちが利用してよい施設なのかわからない」という声が多く寄せられていたため、「誰でも気軽に利用できる施設である」ことを広く周知するため、講座の開催時、若者向けの案内文の作成等を行った。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正（普通）:4点、不備あり:3～1点　※苦情なしは5点とする	改装・設備・備品の要望に対し、適切に対応した。	苦情なし・期待以上　5点	苦情なし。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント（アピール）が期待以上:15～12点、適正（普通）:11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	①個人で新たな活動を始める際に、前向きな取り組みを具体化し、継続・発展させていくための支援を実施。 ②地域の方々と施設が手を取り合い、1年間の活動を完走させることができ、新たな地域コミュニティが生まれた。	期待以上　14点	施設整備や備品を活用した、現役世代向けのワークショップやセミナー、交流イベントなどを開催し、従来の枠にとらわれない多様な利用を実現した。また、商業利用に関する案内及びチラシの作成、企業の会議や個人事業主の利用に対応するための備品の充実など「勤労者センター」という従来のイメージを超え、多世代・多目的に利用される地域の拠点として価値を高めた。	14点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする（遅れ・不備内容の程度により△1～△3点） 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れ等、特になし。	遅れ・不備なし　減点なし	遅れ・不備なし	0点
		(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする（対応等の内容により△1～△3点） 指示等なし:対応等が期待どおり 減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり　減点なし	指示等なし	0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好　100～85点 良好　84～65点 努力が必要　64～45点 取消し等を検討　44点以下				合計85点
								全体的な評価 ・適切・良好な管理がされている。 ・利用者の視点に立ち、施設清掃・改善・事業実施が行われている。	**極めて良好**